

Rockustics®

ULTRA-FIDELITY OUTDOOR SPEAKERS



PLANTER SPEAKERS

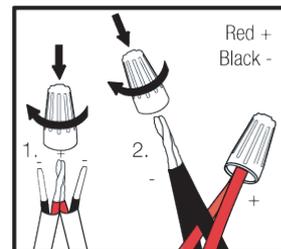
設置マニュアル

PLANTER SPEAKERS | 設置マニュアル

Rockustics® Planterスピーカーを取り付ける前に、以下の指示をよくお読みください。
設置に関してご質問がある場合は、オーディオオーディオブレインズにお問い合わせください。

基本の接続とセットアップ

1) (図A) プランターの下側からスピーカーケーブルを取り出します。
設置に適切な長さにケーブルをカットし、ケーブルの外皮を取り除きます。
適切な方法を選択し、スピーカーのプラス（赤）とマイナス（黒）のリード線と入力を接続します。
アンプとスピーカー間の接続には、14AWG以上のケーブルを使用することを推奨します。



図A

2) (図B) 適切な排水を確保するために、黒の挿入箱の上に約2インチの深さの砂利をプランターに満たします。砂利が隙間を埋められるように、左右にゆっくりとプランターを揺り動かして、黒いインサートボックスを十分に隠します。砂利で満たした後、土で覆い、通常のプランターと同じように植えます。プランターを満たすために適切な量の砂利と土を使うようにしてください。土壌と砂利はプランターの音響特性、特に低音再生にとって重要な役割を担います。



図B

注：ワイヤーコネクタを使用する場合は、永久的な設置のみを目的としています。
一時的にスピーカーを配線する場合は、これらのワイヤーコネクタを使用しないでください。
ワイヤーコネクタを使用していて、システムを再配線する必要がある場合は、ナットを緩めないでください。代わりに、ワイヤをナットの下にクリップし、新しいペアの防水ワイヤナットを使って基本配線セクションの手順に従ってください。

最高のサウンドを得るためのスピーカー配置の最適化

すべてのRockusticsスピーカーは高いSPL（音圧レベル）を生成することができます。
最大の音響性能は、スピーカーの配置を決定する上で重要な要素です。これを実現する方法は次のとおりです。

オムニプランターは全方向のカバーレンジを提供し、360度オーディオに適しています。
スピーカーの周囲全体をカバーする必要がある設置場所でこれらのモデルを使用してください。

- 1) 設置場所のリスニングゾーンを確立します。
- 2) スピーカーはその中央、またはその近くに配置する必要があります。
- 3) リスニング位置とスピーカーの位置間の実際の距離は重要ではありません。
ただし、リスニングエリアとスピーカーの距離が遠くなるにつれて、知覚音量が低下することに注意してください。
- 4) アンプの出力がスピーカーの定格出力と一致していることを確認してください。
スピーカーを過度に動かすと、保証の対象外となる損傷を招く可能性があります。

注意とメンテナンス

すべてのRockusticsスピーカーは密閉されており、完全に耐候性があります。
ただし、スプリンクラーの付近にスピーカーを配置しないでください。
スプリンクラーは水圧レベルが高いため、直撃するとスピーカーコーンが損傷する可能性があります。

スピーカーグリルが配置されているプランターの壺と土台の間に、土や木材の破片を置かないでください。
グリルに土がたまると、スピーカーが損傷することがあります。
土が溜まっていると、不要な虫がスピーカーに侵入することもあります。
化学スプレーはスピーカーのゴムにも損傷を与える可能性があります。
これには、防虫スプレー、デッキシーラント、いくつかの肥料、そして油性製品が含まれます。
設置場所にこれらの処理や化学薬品を塗るときは、スピーカーを適切な部材で覆ってください。

雪や氷が降る環境では、再生する前に開口部とウーファーが乾燥して、固い雪や氷が付着していないことを確認してください。
コーンに氷や雪がある場合は、ドライヤーなどを使用して溶かします。
冬季にスピーカーを使用しない場合は、スピーカーを取り外して屋内に置くか、ビニール袋で覆うことをお勧めします。

70V/100Vアプリケーション用の配線

トランス内蔵スピーカーの場合は、図Cを使用して希望のタップ設定に適したケーブルを見つけます。
目的のタップ設定が決めたら、腐食を最小限に抑えるために未使用のケーブルを使用してください。
湿度の高い環境では、保護を強化するためにケーブルの端にシリコンを塗ることをお勧めします。

デジーチェーン接続する場合は、「基本的な配線」の項で説明されているような配線方法に従ってください。
70Vおよび100Vアプリケーション用の標準的なデジーチェーン配線システムについては、図Eを確認してください。
図Dに示すように、必ずチェーン内の次のスピーカーに接続するワイヤを接続します。
各スピーカーには3ペアのケーブルが必要ですが、チェーン内の最後のスピーカーには2ペアしかありません。
極性の標準プロトコルに従い、すべてのユニットが同じ極性で配線されていることを確認してください。

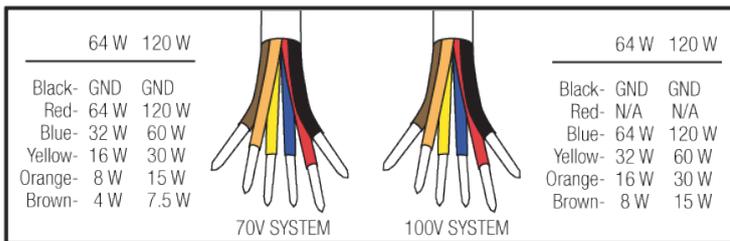


図 C

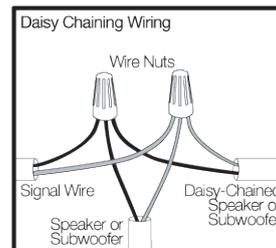


図 D

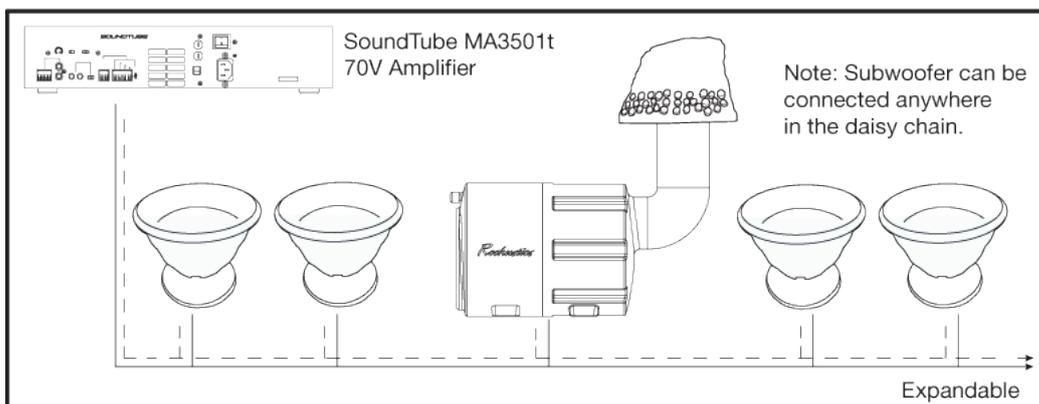


図 E

アプリケーションモデル

OmniPlanter™ 6.5

OmniPlanter™ 6.5 Transformer

OmniPlanter™ 8.0

OmniPlanter™ 8.0 Transformer

SquareRoot™ 6.5

SquareRoot™ 6.5 Transformer